

## 令和3年度第2回埼玉県県庁舎再整備検討委員会について

【目的】 本県県庁舎は、最も古い本庁舎が建築後70年を経過し、令和13年度には建物の目標使用年数である築80年を迎える。こうした中、目標使用年数経過後を見据えデジタルトランスフォーメーションなどによる社会変革を考慮した県庁舎再整備に関して知事が必要と認める事項を検討する。

【構成】 高柳副知事・各部長(委員)  
+ 県議会、企業局、下水道局、教育局、警察本部、その他の行政委員会

【開催】 令和3年度 2回 ・第1回：令和3年8月23日(月) 午前10時から11時  
・第2回：令和4年2月4日(金) 午後1時30分から3時

【内容】 有識者の講演及び意見交換  
講師 こぼり てつお 小堀哲夫氏(建築家・法政大学デザイン工学部建築学科教授)

【その他】 原則公開



こぼり てつお  
小堀 哲夫 氏

**建築家・法政大学デザイン工学部建築学科教授  
(株)小堀哲夫建築設計事務所代表**

- 1997年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了後、久米設計に入社。
- 2008年小堀哲夫建築設計事務所設立。
- 2017年度に、建築家に与えられる二大建築賞である日本建築学会賞と日本建築大賞をダブル受賞。  
同年内のダブル受賞は史上初。
- 2018年度にも日本建築大賞を受賞。日本の建築家が同賞を2度受賞するのは史上初。その他、日経ニューオフィス経済産業大臣賞、BCS賞(日本建設業連合会)など受賞多数。